



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ

コード番号 6239 URL <https://www.nagaokajapan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績（2023年7月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	6,220	13.4	1,159	70.6	1,239	81.0	815	46.3
2023年6月期第3四半期	5,485	22.1	679	11.7	684	△4.0	557	12.0

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 930百万円 (106.8%) 2023年6月期第3四半期 449百万円 (△34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	116.20	-
2023年6月期第3四半期	79.06	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	8,180	5,781	70.7
2023年6月期	8,886	5,630	63.4

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 5,781百万円 2023年6月期 5,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	23.00	23.00
2024年6月期	-	0.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	22.7	1,600	22.0	1,650	22.0	1,080	24.5	153.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	7,078,400株	2023年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	529,237株	2023年6月期	29,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	7,014,632株	2023年6月期3Q	7,049,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費・インバウンド需要の持ち直しがあった一方、資源高による物価の上昇、世界的な金融引き締めや中国経済の成長鈍化に伴い海外景気の停滞が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、2022年6月期から3カ年を計画期間とする中期経営計画「FLIGHT PLAN: VISION 2024」で掲げた「既存事業の深化・拡充」「戦略的パートナーとの連携」「新規市場参入」に取り組み、持続可能な成長を目指しております。

水関連事業では、国内の上水道や食品・農業に関連する分野の水処理を幅広く行っております。前連結会計年度より連結子会社となった矢澤フェロマイト株式会社は、上水道・排水処理設備の設計、製作、据付工事を事業としており、これにより対応可能な施設設計・受託範囲が広がり、受注機会が拡大しております。また、海外顧客への営業活動も積極的に進めており、当社グループがこれまでに提供してきた取水技術や水処理技術を基盤に需要の創出・獲得に向けて取り組んでおります。

エネルギー関連事業では、安定的に収益を確保できる体制の構築が課題と考えており、プラント設備に対するメンテナンスサービスの強化を行い、サービス提供面で顧客と対話を重ね、信頼関係を深化させ、設備更新ニーズを早期に把握することを目指し取り組んでおります。また、受注機会の拡大や新たな受注機会の創出を目指し、製造コスト低減による価格競争力の強化、プロセス・オーナーとの関係構築・深化、これまで認証を取得していない新たなプロセス・オーナーとの関係構築に取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間において、直前四半期に続き設備更新の大型案件を受注し、那賀設備（大連）有限公司（以下「大連工場」という。）では、生産計画の最適化を図りながら製造を進めています。その結果、大連工場は、高い稼働率を維持し、収益の向上に寄与しております。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,220,175千円（前年同期比13.4%増）、営業利益1,159,501千円（前年同期比70.6%増）、経常利益1,239,719千円（前年同期比81.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益815,082千円（前年同期比46.3%増）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

取水分野では、各地で進められている取水設備の老朽化や耐震化に伴う改修工事等により、取水スクリーンの需要は底堅く、堅調に推移しております。また、水処理分野では、官公庁並びに民間企業から受注した案件の中には、当第3四半期連結会計期間において納期・工期を迎えた案件も多く、売上及び利益の増加に貢献しております。

これらの結果、売上高2,141,143千円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益234,793千円（前年同期比122.5%増）となりました。

② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業では、中国経済の成長鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等の様々な要因により、顧客各社は新規プラント建設投資には慎重な姿勢にあるものの、設備更新を中心とした既存プラントへの設備投資は回復傾向にあります。当社グループでは、新規プラント建設計画に関して継続的に情報収集に努めるとともに、既存プラントの更新需要に対して積極的に営業活動を進めており、当第3四半期連結会計期間においても設備更新の大型案件を受注しております。また、大連工場において、生産計画の最適化を図りながら製造を進めることで高い稼働率を維持していることや、外注加工費等の製造に係る費用についても低減を図ることで、収益の向上に努めております。

これらの結果、売上高4,079,031千円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益1,328,773千円（前年同期比40.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,180,298千円となり、前連結会計年度末に比べ706,617千円減少しました。これは主に、電子記録債権が296,735千円、原材料及び貯蔵品が193,225千円、投資その他の資産のその他が128,867千円、流動資産のその他が112,528千円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が799,317千円、現金及び預金が599,483千円それぞれ減少したことによるものです。

負債合計は2,398,637千円となり、前連結会計年度末に比べ857,699千円減少しました。これは主に、短期借入金747,282千円、支払手形及び買掛金が168,479千円それぞれ減少したことによるものです。

純資産合計は5,781,661千円となり、前連結会計年度末に比べ151,081千円増加しました。これは主に、自己株式

の取得等により自己株式が617,540千円増加（純資産は減少）したこと、配当金の支払により利益剰余金が162,131千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が815,082千円、為替換算調整勘定が101,984千円それぞれ増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2024年2月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,112,685	1,513,201
受取手形、売掛金及び契約資産	3,995,173	3,195,856
電子記録債権	312,064	608,799
商品及び製品	9,559	11,331
仕掛品	121,618	151,097
原材料及び貯蔵品	398,970	592,195
その他	258,764	371,293
貸倒引当金	△7,081	△5,408
流動資産合計	7,201,755	6,438,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	704,308	707,383
機械装置及び運搬具（純額）	199,666	202,991
土地	149,095	149,095
リース資産（純額）	40,436	20,078
建設仮勘定	8,122	13,660
その他（純額）	60,024	46,556
有形固定資産合計	1,161,654	1,139,765
無形固定資産		
のれん	19,151	15,560
その他	314,730	305,293
無形固定資産合計	333,881	320,853
投資その他の資産		
繰延税金資産	82,094	44,913
その他	107,531	236,399
投資その他の資産合計	189,625	281,313
固定資産合計	1,685,161	1,741,932
資産合計	8,886,916	8,180,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,037	748,558
短期借入金	953,643	206,361
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	33,524	9,924
未払法人税等	206,539	199,386
賞与引当金	3,770	77,469
役員賞与引当金	—	90,000
その他	841,686	786,332
流動負債合計	2,966,200	2,128,031
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	160,460	153,017
退職給付に係る負債	80,530	79,565
その他	29,146	23,023
固定負債合計	290,136	270,605
負債合計	3,256,337	2,398,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	785,195	785,195
利益剰余金	3,121,648	3,774,599
自己株式	△20,106	△637,646
株主資本合計	5,139,979	5,175,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1,431
繰延ヘッジ損益	△15,253	△2,998
為替換算調整勘定	505,853	607,838
その他の包括利益累計額合計	490,600	606,272
純資産合計	5,630,579	5,781,661
負債純資産合計	8,886,916	8,180,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,485,466	6,220,175
売上原価	3,725,003	3,730,832
売上総利益	1,760,462	2,489,342
販売費及び一般管理費	1,080,834	1,329,841
営業利益	679,627	1,159,501
営業外収益		
受取利息	3,028	5,655
為替差益	5,373	37,497
スクラップ売却益	8,304	36,234
補助金収入	15,333	12,187
その他	1,671	3,028
営業外収益合計	33,711	94,602
営業外費用		
支払利息	24,645	14,111
支払手数料	3,499	269
その他	230	2
営業外費用合計	28,375	14,383
経常利益	684,963	1,239,719
特別利益		
固定資産売却益	—	312
特別利益合計	—	312
特別損失		
固定資産売却損	—	338
固定資産除却損	123	438
特別損失合計	123	776
税金等調整前四半期純利益	684,840	1,239,255
法人税、住民税及び事業税	143,158	392,955
法人税等調整額	△15,615	31,218
法人税等合計	127,543	424,173
四半期純利益	557,296	815,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	557,296	815,082

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	557,296	815,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,431
繰延ヘッジ損益	27,128	12,255
為替換算調整勘定	△134,430	101,984
その他の包括利益合計	△107,302	115,671
四半期包括利益	449,994	930,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,994	930,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年3月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得により、自己株式が617,500千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において637,646千円となっています。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2024年3月13日をもって取得を終了しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,681,193	1,804,272	5,485,466	—	5,485,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,681,193	1,804,272	5,485,466	—	5,485,466
セグメント利益	943,942	105,523	1,049,465	△369,837	679,627

(注) 1. セグメント利益の調整額△369,837千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,079,031	2,141,143	6,220,175	—	6,220,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,079,031	2,141,143	6,220,175	—	6,220,175
セグメント利益	1,328,773	234,793	1,563,567	△404,066	1,159,501

(注) 1. セグメント利益の調整額△404,066千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。